

2022年6月16日

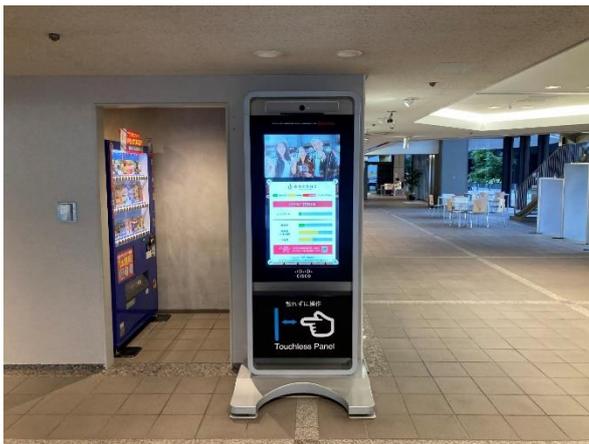
株式会社 ミライト・ホールディングス

【株式会社ミライト】

ワーキンググループ

京都リサーチパークをフィールドとしたスマート街区 WG にて
 AIにより混雑状況を可視化する「WaitTime」^{ウェイトタイム}を活用した実証実験を開始
 ～混雑状況の可視化とクーポン配信により、行動変容を促進～

株式会社ミライト・ホールディングスのグループ会社である株式会社ミライト（本社：東京都江東区、代表取締役社長：中山俊樹、以下ミライト）は、6月16日、京都ビッグデータ活用プラットフォーム^{※1}が支援するスマート街区 WG^{※2}の実証実験において、AI でリアルタイムに混雑を解析し、混雑状況を可視化する「WaitTime」^{※3}を活用した実証実験を開始しました。



本実証実験では、京都リサーチパーク^{※4}10号館の1Fにあるフードサロン「GOCONC」(ゴコンク)^{※5}に「WaitTime」を設置します。スマート街区 WG に参画する企業と連携して、混雑状況を京都リサーチパークの敷地内に設置された次世代型のスマートサイネージ(開発:シスコシステムズ合同会社、株式会社デンソー、コンテンツ運用:株式会社アドリンク)とスマートフォンにリアルタイムに配信することで、京都リサーチパークをフィールドに、2022年12月末(予定)まで、混雑状況の可視化や、クーポン配信による行動変容の実証を実施します。

京都リサーチパークは、500社6,000人が集う一大ビジネス拠点です。「GOCONC」は、食事や打ち合わせ、イベント等にも利用されるため、時間帯や曜日によって非常に混雑します。本実証実験では、「WaitTime」で可視化した混雑状況をサイネージやスマートフォンにリアルタイムに配信し、店舗を訪れる前に混雑状況を把握することで、利用する時間帯を変更するなどの行動変容を促します。また、「WaitTime」は、店舗側にも混雑状況を日々知らせるレポート機能があるため、混雑状況を分析することで店内オペレーションの最適化などサービス品質を向上にも寄与します。

また、「WaitTime」と連携したクーポン発行機能を具備します。クーポンはサイネージ、スマートフォンともに混雑状況の下部に表示し、クーポンの内容(テキスト文)は店舗側で簡単に変更することができます。クーポンを表示する日時や期間も店舗側で設定が可能で、「WaitTime」の混雑状況と連携して「空いているときだけクーポンを表示する」といった自動表示もできます。混雑状況に合わせて割引サービスなどのクーポンを発行し、空席の多い時間帯の集客から、特定の飲食物にクーポンを発行することで、購入率を向上させ、フードロス対策にも活用できます。

今後は、MODE, Inc.が提供する MODE Sensor Cloud や NTT コミュニケーションズ株式会社が提供するデータ利活用基盤「Smart Data Platform for City」との連携を通じて、複数の人流データを活用して施設利用者の利便性向上を目指していく予定です。さらに、京都ビッグデータ活用プラットフォームとも連携し、新たな価値の創造に挑戦していきます。

※1『京都ビッグデータ活用プラットフォーム』とは

京都ビッグデータ活用プラットフォームは、京都府、一般社団法人京都スマートシティ推進協議会及び公益財団法人京都産業21で構成する官民プラットフォームです。データ利活用を促進するため、大学・研究機関、企業、観光連盟・DMO、行政等の多様なプレイヤーが参画するプラットフォームを構築し、新たなサービスやアライアンスの創出の場を提供し、産業活性化を図るとともに、データ活用に基づく超快適スマート社会の創出を目指しています。 https://smart-kyoto.or.jp/about_platform/

※2『スマート街区 WG』とは

スマート街区 WG は、京都ビッグデータ活用プラットフォーム会員等から多様なアイデアを募り、新しいプロジェクトの創発及びプロジェクトを実行するメンバーシップを構築し、各補助金の申請を行い、具体的な PoC の実施や実践を目指します。京都リサーチパークを仮想エリアにスマート街区を検証します。(将来的には、当フィールドで得られた成果やノウハウをその他類似の街区等に展開することも想定しています。)

2021年1月に第一回スマート街区ワーキングを実施。同年9月から第二回スマート街区ワーキングを開催し、現在、京都リサーチパーク地区をフィールドに、企業間のアライアンスによる実証実験に取り組んでいます。

第1回スマート街区 WG: https://smart-kyoto.or.jp/reports/smart_block-wg_01r/

第2回スマート街区 WG: <https://smart-kyoto.or.jp/infomation/smartcityblock02/>

※3『WaitTime』とは

「WaitTime」は、米国デトロイトに本社を持つ WaitTime 社の先進的な AI による混雑緩和ソリューションです。スタジアムなど多くの人々が訪れる場所の行列や混雑を AI でリアルタイムに解析し、来場者にスマートフォンやデジタルサイネージで分かりやすく情報提供することで、密集の緩和を実現するソリューションです。特にトイレや売店などの待ち行列を判別し、より空いている方へ来場者を誘導することで、待ち時間の短縮と売上機会の最大化に貢献しています。導入実績として、米プロバスケットボールリーグ(NBA)のアリーナや、オーストラリアの8万人収容の多目的スタジアムをはじめ、大規模なスポーツ施設を中心にグローバルに拡大中です。

※4『京都リサーチパーク』とは

京都リサーチパークは、全国初の民間運営によるサイエンスパークとして 1989 年に開設しました。京都府・京都市の産業支援機関などを含めて 500 組織・6,000 人が集積し、オフィス・ラボ賃貸、貸会議室に加え、起業家育成、オープンイノベーション支援、セミナー・交流イベント開催など、新ビジネス・新産業創出に繋がる様々な活動が実施されています。「ここで、創発。～Paving for New Tomorrow～」をブランドスローガンとして、イノベーションを起こそうとする世界中の方々に、魅力的な交流の舞台、事業環境を提供することを通じて、世界を変える新たな事業が生まれることに貢献します。 <https://www.krp.co.jp/>

※5『GOCONC』とは

「GOCONC」(ゴコンク)は、京都リサーチパーク 1Fにあるフードサロンです。「GOCONC」には「食事ができる」に加え、「イベントもできる」、「仕事もできる」という3つの特徴を備えています。コンセプトは「駅のコンコース」。乗り物に乗り降りする人、送り迎えに来た人など様々な人が多様な目的で訪れる駅の広場・玄関口のように、お食事やお茶、仕事や商談・打ち合わせ、時にはイベントに参加するなど、様々な人が集い、出会い、交流できるフードサロンです。名称は、五条通に面している場所性とコンセプトを合わせ「五条コンコース (Gojo Concourse)」、略して「GOCONC」と名付けています。 <https://www.krp.co.jp/goconc/>

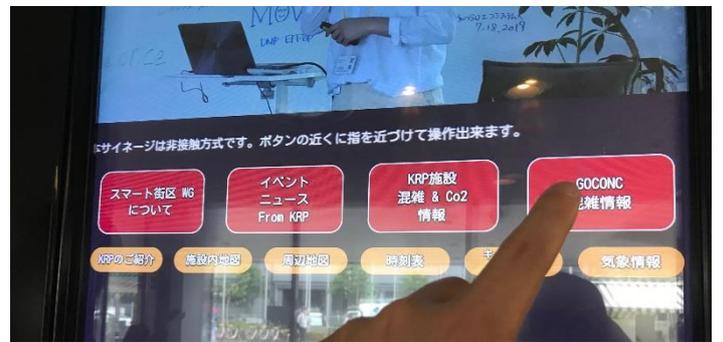
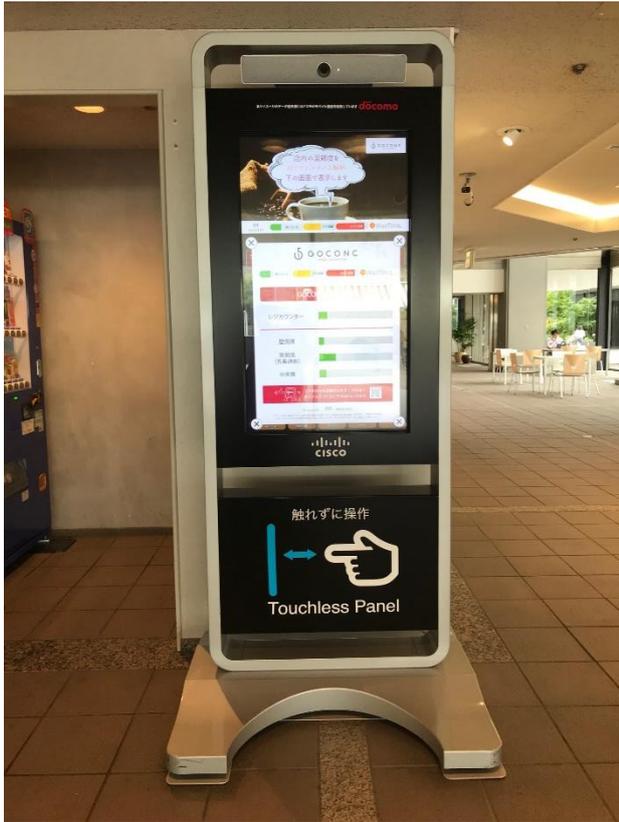
【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ミライト
みらい開発本部 フロンティアサービス
推進本部 フロンティアサービス推進部
E-Mail: iot-info@mirait.co.jp

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社ミライト・ホールディングス
広報室
TEL: 03-6807-3120
FAX: 03-5546-2967
URL: <https://www.mirait.co.jp/>

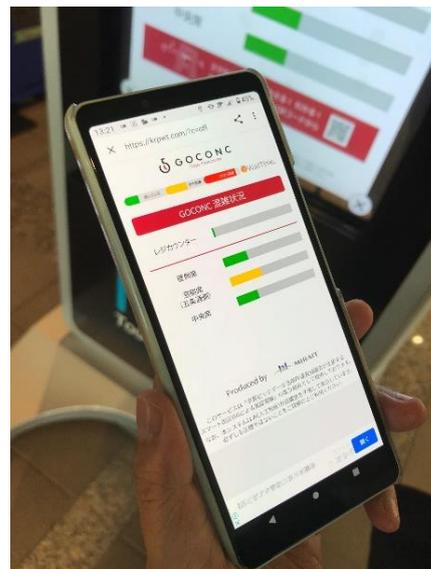
実証実験の様子



京都リサーチパークに設置された次世代型のスマートサイネージ



サイネージ表示



スマートフォン表示

緑(空いている)黄(やや混雑)赤(かなり混雑)で表示することで直感的に混雑状況を把握可能

(五条通側) 

中央席 



サインージュに表示されたクーポン例

中央席 



スマートフォンに表示されたクーポン例

スケジュール一覧

2022/04		2022/05					2022/06
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9 14:00-22:00 COFFEE 10%OFF!!	10 17:00-22:00 ドリンク 10%OFF!!	11 15:00-16:00 パスタ 10%OFF!!	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25 13:00-17:00 COFFEE 10%OFF!!	26 9:00-12:00 コーヒー 10%OFF!!	27	28	
29	30	31					

凡例  新規登録  20%OFF適用

クーポン設定画面

表示されているクーポン画面のスクリーンショットを会計前に提示すれば利用できる